

一般質問

役場位置は検討委員会の結論を尊重すべき



藤元 雅文 議員

東日本大震災後の復興が進まない現地の状況、行政の果たさなければならぬ責任の重さ、迫りくる巨大地震津波を考えると、検討委員会が出した「浸水域以外で、中心部から遠くない場所に移転すべき」との結論は妥当だと考える。旧海部病院の有効利用は当然であるが、この際、検討委員会の結論を尊重し、旧海部病院への移転は諦め、いつ頃の完成を目指すのか明らかにすべきだ。

教員の長時間労働改善されたことは

旧海部病院を活用すべきと考えていたが、検討委員会は牟岐町の主要な組織のメンバーが入っており、その提案を尊重するのは当然と考えており、他の場所でも早期の竣工を目指す。

「学校の行事の見直しや会議・事務の効率化、『ノー部活動デー』を設けるなど適切な対応を図るよう指示しています」と、答弁してきたが、改善されたことはあるのか。

小学校では、校務分掌の見直しを図るとともに、協働で業務に当たるよう校内体制の構築や、その日の退庁時間を設定・明示して見直しをもって仕事をすることで業務の効率化・簡素化を図る取り組みを始めている。

「今後も教員がゆとりを持って、子どもたちに向き合える環境づくりを進めていく。」

浄化槽、一層の普及を

役場内の受動喫煙対策は

タクシー利用助成の対象拡大を

巨大地震

津波に備えて

普及率は50・8%であるが、10年前に比べると設置が3分の1と、頭打ち状態である。工夫すべきだ。

「保養と健康の町」をコンセプトとした町づくりを考えている牟岐町であり、直ちに実行すべきだ。

受診抑制にならないよう対象範囲を拡大すべきだ。

減免は、市町村レベルで判断できない。指定避難所10ヶ所の収容可能人数は、4千670人なので足りている。

本町の設置補助額はトックラスであり、制度等の周知を図り普及に努めたい。

役場庁舎北東部の屋外階段下に喫煙場所を確保した。

今年度の施行結果を踏まえ検討する。

空き家解体後の固定資産税の減免など、思い切った対策を講じるべきだ。